

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	10	課題区分	C	令和7年(2025年)5月15日
横断的な課題	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					南信州地域振興局
地域重点政策	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	
事業名	地域資源を活かした観光振興事業				電話	8-237-2262
					E-mail	minamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	リニア中央新幹線の開業及び三遠南信自動車道の開通を見据え、南信州地域ならではの強みや特性を活かした観光資源を幅広くPRするとともに、観光誘客に向けて地域一体となった観光振興を推進する。				
	現状と課題	・平成30年度の長野県観光機構による来訪者満足度等アンケート調査によると、観光目的で南信州地域を来訪する国内旅行者のうち、東海地方からの旅行者の割合は59%と半数以上を占めており、当地域における東海・中京方面に向けた観光PRは特に重要である。 ・また、令和5年度、名古屋市栄で開催された第69回名古屋まつりにおいて行った南信州認知度アンケート調査では、「南信州に一度も行ったことがない」と回答した者の割合が7割以上を占め、南信州全体の認知度向上が喫緊の課題となっている。 ・リニア中央新幹線による来訪者はもとより、観光客やつながり人口、移住者、企業誘致を増やすためには、南信州地域の認知度向上を図り、まず多くの人にこの地域に関心をもってもらう必要がある。 ・昨年度に引き続き、「南信州地域」の認知度向上と誘客促進を図るため地域の強みを活かした消費につながる観光コンテンツづくりと、中京圏向けの認知度向上及び誘客促進事業を並行して実施していく。				
	内容 (変更後の内容)	【JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進事業】 ・JR東海が運行するイベント列車 急行「飯田線秘境駅号」に併せて、地元特産品の販売や観光PR、ご当地キャラ等によるお出迎え等のおもてなしイベントを実施する。 時期：イベント列車の運行に併せて春と秋に開催(春:5/18、5/25、5/26 秋:11/2、11/3、11/16) 場所：JR平岡駅 桜並木駐車場 出店者：地元特産品販売事業者、市町村観光協会、観光事業者、市町村等 【JR尾張一宮駅での観光プロモーション事業】 ・JR尾張一宮駅は、1日当たり約54,000人が乗降する駅であり、JR飯田線の起点駅であるJR豊橋駅とも接続している。当該駅構内に管内全14市町村の観光パンフレットを設置し、南信州地域の情報発信を実施する。 時期:R6.5～R7.3(JR東海に協力いただき、設置期間をR6.3末からR7.3まで延長) 場所:JR尾張一宮駅 切符売り場前及び改札内スペースの2箇所 【里山の資源を活用した体験型コンテンツの商品化に向けた検討】 ・サイクリングやラフティング等の自然や地形を活かしたアクティビティに加え、農林業、食文化や伝統など地域の暮らしや文化を活かした体験型観光商品化に向けて、当管内をマネジメントするDMOへのヒアリング及び意見交換会を実施する。 (1)DMOとの意見交換会の開催 時期：令和7年2月28日 参加者:管内3DMO(南信州観光公社、阿智屋神観光局、南信州まつかわ観光まちづくりセンター) 内容:南信州地域として取り組む体験型観光案について。商品化に向けたR7の取組内容(先進地の視察、モニターツアーの実施等)について				
		事業期間	令和6年4月 ～ 令和7年3月			
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考		
	【JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進事業】	地元特産品の販売や観光PR、ご当地キャラ等によるお出迎え等のおもてなしイベントを実施	255,363	・アッセンブル袋制作費 99,550円 ・飯田線パンフレットの増刷 99,000円 ・消耗品費 3,484円 ・ガソリン代 31,669円 ・チラシ等印刷費 7,840円 ・ETC使用料 13,820円		
	【JR尾張一宮駅での観光プロモーション事業】	JR尾張一宮駅構内に管内全14市町村の観光パンフレットを設置し、南信州地域の情報発信を実施	43,701	・職員旅費(駐車場代) 1,600円 ・ガソリン代 6,896円 ・パンフレット郵送料 12,595円 ・ETC使用料 22,610円		
	里山の資源を活用した体験型コンテンツの商品化に向けた検討	DMOへの個別ヒアリング DMOとの意見交換会の開催	24,103	・ガソリン代 8,503円 ・個別ヒアリング及び意見交換会の資料印刷費等 7,920円 ・ETC使用料 7,680円		
	合 計		323,167			

指標及び達成状況	成 果 指 標	目標値	成果	達 成 状 況
	JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進イベントの来場者数 (開催日1日当たりの人数・手渡した観光パンフレット部数による)	180人	180人	達成
	JR尾張一宮駅で配付したパンフレットの総部数(R5:15,700部)	15,800部	16,550部	
事業実績・成果	【JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進事業】 ・春と秋の運行と併せて延べ6日間にわたって開催した。雨天により屋内に会場変更しての開催となった日もあったが、一日当たりの来場者数は180人と、前年度の来場者数150人を上回った。JR飯田線は当地域における重要な観光コンテンツの一つであり、引き続き、JR東海と連携した南信州のPRを継続的に実施していく。 【JR尾張一宮駅での観光プロモーション事業】 ・管内全14市町村及びDMOと連携し、南信州地域の観光パンフレット等の常設PRを行った。R6.4月からR7.3月までの一年間で合計16,550部と前年度を上回り、東海・中京圏を主とする駅利用者に向けて最新の観光情報をPRすることができた。 【里山の資源を活用した体験型コンテンツの商品化に向けた検討】 ・事業目的を「地域資源や強みを活かして南信州を滞在目的地にすること」と再整理し、9月に長野県観光機構、12月に管内3DMOへの個別ヒアリングを行い、今後の取組の方向性を決定。2月には事業内容を「オールインクルーシブ型の里山観光(長期滞在型)の商品化に向けた支援」と具体化し、管内3DMOとの意見交換会を開催。翌年度以降に実施する具体的な事業内容について、管内観光事業者との認識共有、合意を得た。			
今後の方向性	リニア中央新幹線の開業及び三遠南信自動車道の開通を控える中、東海・中京圏に向けた観光PRは依然として重要であり、引き続き、JR東海と連携した南信州地域の魅力発信・観光プロモーションを継続して実施していく。 また、南信州の地域資源や強みを活かした地域内周遊・宿泊客の増加等、観光地消費額の向上に向けた観光振興の取組や認知度向上のための取組を実施していく。			